

## 「津南町国土強靱化地域計画（案）」に寄せられた パブリックコメントの実施結果について

津南町役場総務課

津南町では、「津南町国土強靱化地域計画」の策定にあたり、令和3年3月23日に計画案を公表し、パブリックコメントを実施しました。実施計画と本町の考え方をまとめましたので、公表いたします。

貴重なご意見・ご提案をお寄せいただき、誠にありがとうございました。

### 1 パブリックコメントの概要

案件名	津南町国土強靱化地域計画（案）
意見募集の期間	令和3年3月23日から令和3年4月6日まで
広報方法	・町広報紙掲載（令和3年3月20日号） ・町ホームページ掲載 ・町総務課にて閲覧場所設置

### 2 パブリックコメントの実施結果

意見提出者数及び意見数	1人 12件
提出方法	電子メール1件

### 3 いただいたご意見の内容（要旨）と町の考え方

ご意見の要旨	町の考え方
P5（1） 1992年上郷地震についても記載すべき。	「震度5強を記録した平成4年12月の上郷地震」の文言を追記します。
P6（5） 火災の発生要因を具体的に記載すべき。	地震等の複合災害における火災の発生も想定し、「通電火災等」の文言を追記します。
P6 2 想定する自然災害はより具体的に示すべき。対策を検討する上で不十分ではないか。	想定する自然災害は当町が過去に経験したもの、また今後発生しうるものに加え、多数の小規模河川や土砂災害危険箇所、積雪地帯等地域の特性も考慮していることから、記載のままとします。
P6 2 原子力発電所の事故も考慮すべき。	国土強靱化計画は大規模自然災害を考慮した計画のため、津南町国土強靱化地域計画も記載のままとします。なお、原子力災害については、その対策として津南町地域防災計画原子力災害対策編を策定しております。
P11 表中「事前に備えるべき目標1」リスクシナリオ1-1 他 避難所である学校は体育館だけではなく、教室も開放するよう対応として記載すべき。	大規模災害後に速やかに学校教育を再開することは、地域が日常を取り戻し、復旧復興への第一歩となることから、体育館のみを指定避難所としています。

	<p>また、国土強靱化地域計画は発災前の取組を対象とした計画のため、記載のままとします。</p>
<p>P11 表中「事前に備えるべき目標1」リスクシナリオ1-1 他 防災手段については情報伝達手段として、具体的にFM放送を検討すべき。</p>	<p>町では平成29年にFMとおかまち様と「災害時における臨時災害放送局開設運用の支援に関する協定」を締結しております。現在の防災情報伝達手段以外の新たな手段については、今後具体的な検討を行うため、記載のままとします。</p>
<p>P13 表中「事前に備えるべき目標1」リスクシナリオ1-2 浸水被害への対応として、田に溜まった水が水路に流れ込んだ時の対策を記載すべき。</p>	<p>近年の激甚化する水害においては、河川に流れ込む前の森林の水源涵養機能や水田貯留機能も含めた流域治水も重要と考えていることから、記載のままとします。</p>
<p>P16 表中「事前に備えるべき目標1」リスクシナリオ1-4 高齢者の除雪作業を控える呼びかけは、同居親族がいない家庭の視点が欠落している。</p>	<p>自らの雪は自らの責任と負担において処理することが基本となりますが、脆弱性の評価に「豪雪時に地域で雪処理の担い手が不足されることが懸念される」を追加し、対応方針に「自ら雪処理を行えず、やむを得ず助けを求める町民を迅速に察知し、広域的な調整をおこない、遅滞なく必要な人材等を供給できる体制の強化を図る。」の文言を追記します。</p>
<p>P18 表中「事前に備えるべき目標2」リスクシナリオ2-2 道路及び橋梁等の寸断が懸念されるため、ヘリコプターを活用できるよう、関係機関とマニュアルを作成することを記載すべき。</p>	<p>マニュアルの作成に限らず、有事の際に、円滑にヘリコプターが利用できるように「関係機関との連携体制を強化する」に含めていることから、記載のままとします。</p>
<p>P20 表中「事前に備えるべき目標2」リスクシナリオ2-3 他 長野県との消防団との協力体制の強化について記載すべき。 町職員も同様。</p>	<p>「緊急消防援助隊も含めた災害応援の受け入れ」に含めていることから、記載のままとします。 3-1の対応方針に、「応援職員を円滑に受け入れ、活用するために、受援体制を整備する。」の文言を追記します。</p>
<p>P22 表中「事前に備えるべき目標2」リスクシナリオ2-6 仮設トイレを平時から確保するよう記載すべき。</p>	<p>「仮設トイレや携帯トイレ等の迅速な確保のための体制強化を図る。」に含めていることから、記載のままとします。</p>
<p>P24 表中「事前に備えるべき目標3」リスクシナリオ4-2 大規模災害時にも光回線が寸断されると、必要な情報が得られないため、県等の回線を利用する等記載すべき。</p>	<p>災害時に活用する情報サービスが機能停止にならないよう、具体的な対応策は今後検討することとしており、「システムに障害が発生した場合に備えて予備装置を配備し、安全性の確保を図る。」との記載のままとします。</p>